

# 自分も相手も大切にする コミュニケーション

## ～自分の気持ちを伝えること～

昨年度コムズが作成し、市内の中学1年生に配布した学習資料「グッドコミュニケーションしよう」を学級活動等で活用していただくための研修会を開催しました。

市内中学校の教職員の方を対象とした今回の研修会。22名（女性：18名 男性：4名）のご参加があり、今後の本学習資料の活用方法についても建設的なご意見をいただきました。

### 講話「子どもにとっての男女共同参画」



はじめに「子どもにとっての男女共同参画」と題し、当センター館長が、内閣府男女共同参画局が策定した「第3次男女共同参画基本計画」や愛媛県における現状等についてお話をしました。

男女共同参画社会の実現のためには、どのような取り組みが必要か、教育・学習の分野におけるその重要性等について参加者と一緒に考えました。



講師

松山市男女共同参画推進センター  
館長 鎌田 サチ子

生徒にとって、「男女共同参画」が必要なことだと思われましたか？

本当の意味（実社会において具体的な場面）での人権をきちんと理解することが大切。大人からではなく、学生の頃からそのような意識を持つことが必要。（30代・女性）



それぞれが自分の希望を実現し、豊かな生活をするためのものであること。回り回って自分も相手に大切にされるために必要だと感じました。自信を持ってない生徒、自分のことしか考えない生徒にこそ大切だと感じました。（40代・男性）

## 学習資料「グッドコミュニケーションしよう」を 学級活動等で活用するための講習



まず、松山市 性に関する指導資料「L I F E～生きていくこと～」を用いて、子どものさまざまな変化、社会現象の変化についてお話をしていただきました。「すべての子どもが、将来、家庭や社会の一員として心豊かに自立した生活を送ることができる」ために、「生きる力」を育むために、学校教育ができることについて一緒に考えました。

その後、コミュニケーション能力を向上させるために、学習資料「グッドコミュニケーションしよう」を学級活動等でどのように使ったらよいか講習を行いました。

また、「わたしメッセージ」を使うことは、自分も相手も大切にすることにつながるということを再確認する時間となったようです。



講 師

松山市教育委員会 保健体育課

指導主事 米湊 美香 さん



アンケートより

私の中では「こんなこと」くらい簡単なことのように思っていたのですが、確かに今の子どもたちは友達とのコミュニケーションが下手だと思います。こういう疑似体験して、トレーニング（経験する）機会を作って、「こんなこと」と思うことから教えていくことが大切なのだと思います。（30代・女性）

今の生徒たちのコミュニケーション能力が低いと感じることが多く、人間関係づくりを大切にさせていきたいです。（40代・男性）

仕事上、親と子のコミュニケーションなど、大人と子の関係にも役立つと思いました。（50代・女性）



## 交流座談会



交流座談会では、学習資料の活用方法について、学校の現状を踏まえた上での積極的なご意見をいただきました。対象を中学1年生に限定せずに他の学年でも活用してはどうか、冊子媒体だけではなくホームページからダウンロードできるとよいのでは等のご意見をいただきました。

ご意見を参考に、より多くの教育現場でご利用いただくために松山市教育委員会学校教育課のインターネットシステム（職員用）にも掲載をしていただきました。



学習資料「グッドコミュニケーションしよう」は、コムズのホームページからもダウンロードすることができます。関心のある方は、ぜひご覧ください。



### 【 コムズホームページ内 掲載場所 】

松山市男女共同参画推進センター・コムズ トップページ



「情報広場」（左端の一覧にあります）



「啓発資料」

